

夕張市財政再生計画の変更 (平成22年9月)の概要

- 本年6月22日に夕張市の財政再生計画の変更に同意したが、その後に発生した新たな事情に早急に対応するため、財政再生計画に計上した平成22年度分の歳入・歳出額を変更するもの。
- 変更に伴い必要となる財源については、新たな歳入の確保により対応することとしており、財政再生計画の主要部分である計画期間、財政再生の基本方針並びに財政の再生に必要な計画及び歳入又は歳出の増減額については変更はない。
- 財政再生計画の変更への同意は、本年6月に続き2回目である。

I 財政再生計画の歳入・歳出額の変更における内容

1 歳入・歳出の見直し

(1) 歳入

地方交付税 (+9百万円)、国・道支出金 (+20百万円)、繰入金 (+11百万円) などにより53百万円の増

(2) 歳出

物件費 (+7百万円)、維持補修費 (+9百万円)、扶助費 (+18百万円)、建設事業費 (+13百万円) などにより53百万円の増

2 主な変更事項

(1) 公共施設等の維持補修事業 (8百万円)

住宅火災に伴って損傷した市道関連設備や破裂事故により破損した共同浴場のボイラーなど、当初計画段階では想定していなかった事故等に起因する公共施設等の維持補修事業を実施。

(財源) 一般財源 8百万円

(2) 自立支援医療給付費 (18百万円)

当初計画で1名と見込んでいた生活保護受給者の人工透析利用者が4名に増加したため、自立支援医療給付費が増加。

(財源) 国庫支出金 9百万円、道支出金 4百万円、一般財源 4百万円

(3) 幸福の黄色いハンカチ基金助成事業 (0.5百万円)

平成21年度中に受領した特定団体を指定した寄附について、寄付者の意向を早期に実現するもの。

(財源) 繰入金 (幸福の黄色いハンカチ基金 (指定寄附)) 0.5百万円

(4) 歴史資料室整備事業（5百万円）

小中学校の統合を機に、各学校に残されている地域の貴重な文化遺産を集約することが可能となったことから、夕張中学校の空き教室を活用して歴史資料室を整備し、児童生徒に対する市の歴史学習の場や地域における文化交流拠点としての活用を図るもの。

(財源) 繰入金（幸福の黄色いハンカチ基金（指定寄附）） 5百万円